

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY セロリ

2001
Autumn
No.41

特集

学生生活に関する調査結果報告

(学生生活編)

ハルさんのカレー

研究内容紹介「マーケティング戦略とキャッシュフローの関係」
「Cathepsin Y(カテプシンY)という酵素」

教師と学生

短期大学部長 西岡 弘晃

「三尺下がって師の影を踏まず」という言葉があります。昔の話をして恐縮ですが、私どもの学生時代は大学の先生というのは、非常に偉い方々であるという印象が強く、近寄りたいたい雰囲気がありました。そんな尊敬の念がありましたので、講義中も一言も聞き漏らさないよう集中したものです。三百人を超える大教室での講義も珍しいものではなく、学生達は前の時間の講義終了を待ちかねて前列からの席取りに殺到したものです。後方の座席に着けば「師の影」どころか顔の表情など判りようのない状況でした。そんな講義形態であったとしても、四十年を経た今日でも鮮明に甦ってくる講義風景が少なからずあります。講義内容だけでなく、挿話、お説教に至るまで、ことに質問に親切、的確に答えて頂いた先生の場合は、在学中だけでなく卒業後もずっと親しくご指導を受けることになったケ

ースもあります。そして先生の人柄や講義そのものから受けたものの見方、考え方や人生観などの影響も大きいものでした。

いま逆の立場になって、果たしてどれだけ学生達に感動を与える教育ができているかを問い直しているところです。教育は、教員が専門分野について権威を持って毅然とした態度で教授することです。しかし、教壇の上から一方通行で知識を伝授することではありません。教員と学生が一緒に考えること、未知の世界への好奇心を掻き立て、自ら学ぼうという姿勢を喚起すること、そして感動を与えることではないかと思っています。先日、同窓会に招かれた折り、私の講義を受けた方から、講義中に私が話した内容を二十年以上たった今も実行しているという話を聞いたときには改めて感激するとともに、責任の重さが身に滲みました。教師と学生の間柄は、心と

心の通い合いだということを再認識しました。「善く問いを待つ者は、鐘を撞くがごとし」という言葉を自らに言い聞かせながら、毎回の講義内容を精選し、方法を工夫し、心を込めた講義をするように務めています。IT革命が言われ情報機器の便利さがいわゆる現代においても、顔と顔が向かい合った教師と学生との人間的絆はなにもにも代えがたい教育の原点であるといえるでしょう。

この関係は、教室を離れると人生の先輩と後輩ということになって、生涯における触れ合いの中でも最高の縁ではないかと思っています。中村学園で共に過ごす教職員と学生たちの生活が、一人でも多くの生涯の師や友に巡り合って宝物を得ることができ、そんな場を提供していることを自慢したいものだとおもっています。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2001
Autumn
No.41

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第4回
教師と学生 ①

特集

学生生活に関する調査結果報告 ③
(学生生活編)

ハルさんのカレー ⑦

研究内容紹介「マーケティング戦略とキャッシュフローの関係」 ⑨
「Cathepsin Y(カテプシンY)という酵素」 ⑩

平成12年度決算 ⑪

学内施設、リフォームしました ⑫

図書館だより ⑬
教員の出版物

イベント&ニュース ⑭

- アジア栄養科学ワークショップ
- 学園往来
- 中国(青島大学)との共同研究
- 教職員の動き
- 研究助成・受託研究等採択状況
- 広報誌セロリの定期購読について



【今月の表紙】
西4号館、吹抜け階段部分の
シンバシータワー

学生生活に関する調査結果報告(学生生活編)

前号に続き、今回は学生生活に関わる実態について、主な質問事項の結果を報告します。

なお、この学生生活に関わる実態の調査は、大学では平成5年に第1回の調査を実施しており、今回が2回目となります。また、短期大学部は今回が初めての調査となります。

本学ではこの調査結果を踏まえて、問題点の分析と今後の改善の検討を、現在進めており、その一環として、本年3月にキャンパスサミットを設置しました。

このサミットは、学生(学友自治会代表者、代議委員会代表者、学園祭実行委員会代表者、各サークルの代表者、寮の代表者)と教職員で構成され、学友自治会や学園祭のあり方、サークル活動の推進、エチケット・マナー、地域との交流などについて、定期的に会合を行っています。なお、11月上旬に「クリーンキャンパス」キャンペーンを実施する予定です。



1. 大学で過ごす時間

大学では、前回の調査から比較すると、全般に大学で過ごす時間は短くなっているようです。

特に1年次は、授業への出席時間が前回より平均で45分短くなっているにも関わらず、サークル・クラブ活動の時間では、前回よりもさらに平均22分短くなっています。また短期大学部では、サークル・クラブ活動の時間が大学よりさらに短い結果となっています。

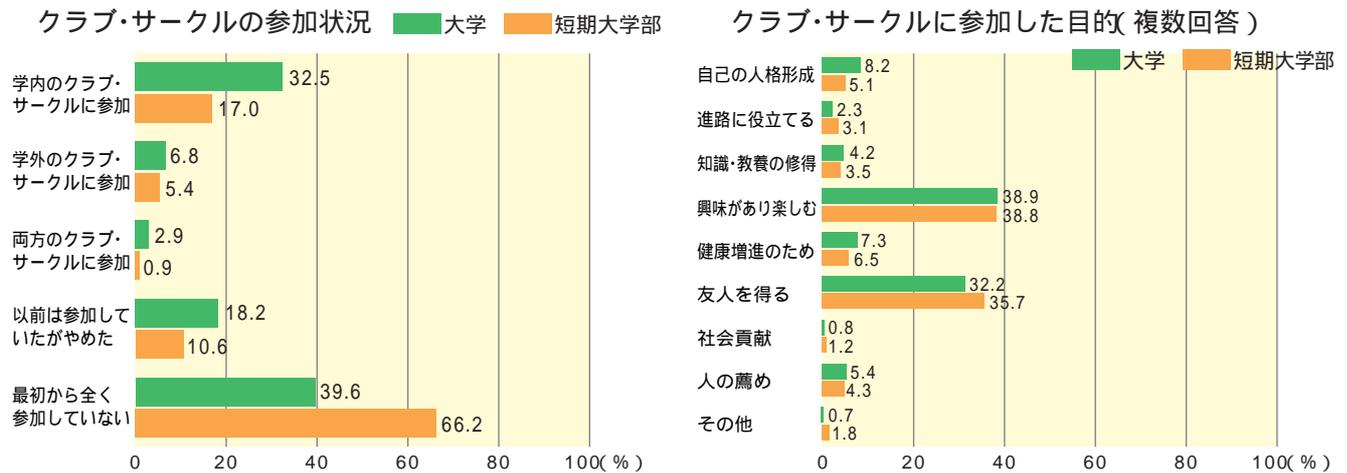
大学で過ごす時間

		授業への 一日平均 出席時間 (分)	正課外の 学習時間 (分)	図書館 利用時間 (分)	サークル・ クラブ活動 時間 (分)	合 計 (分)
大 学	1年	262	27	13	36	338
	2年	310	26	19	40	395
	3年	215	25	24	35	299
	4年	210	58	35	26	329
短 期 大 学 部	1年	319	25	20	18	382
	2年	206	26	21	20	273

2. クラブ・サークル活動

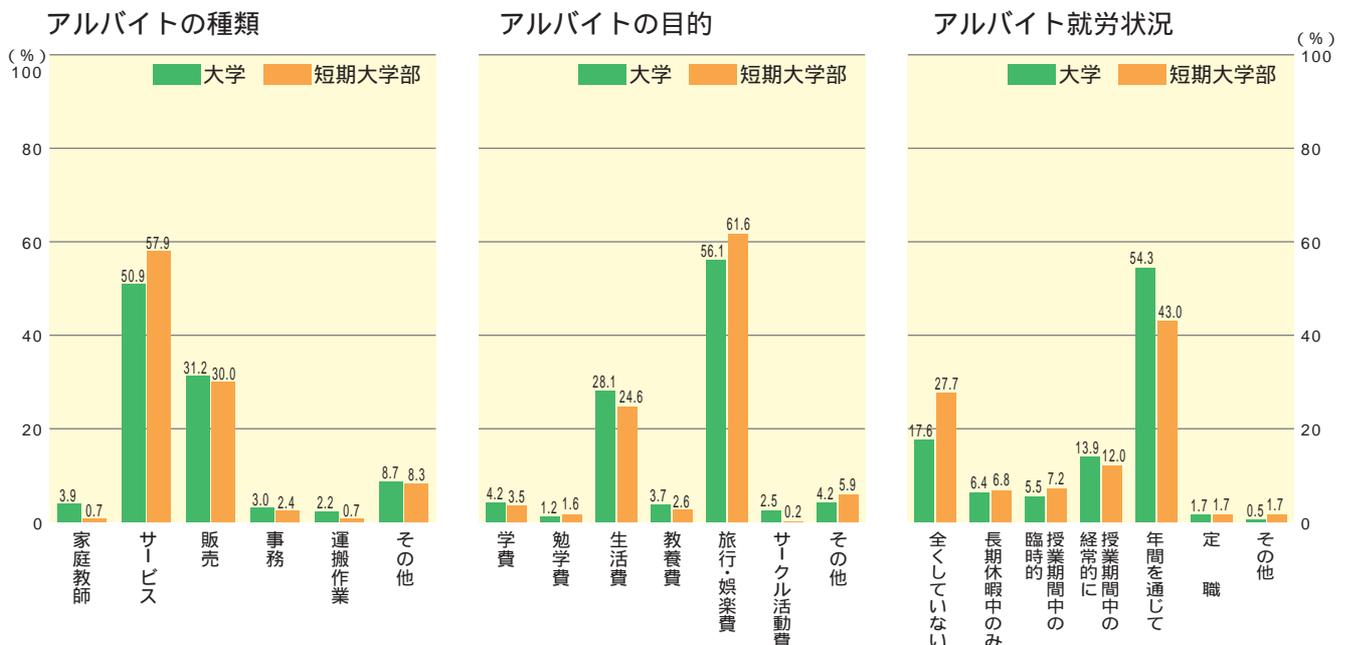
学内のクラブ・サークルに参加している割合は、大学が前回より5.8%低い32.5%、短期大学部が17.0%と大学より低い結果となっています。また、クラブ・サークルに全く参加していない学生の割合は、大学が前回調査結果(22.2%)より大幅に増加しており、短期大学部では6割以上の学生が未参加という状況です。

なお、平成11年度に日本私立大学協会が、加盟大学276校に行った調査では、学内クラブの加入率が20~29%と回答した大学が全体では最も多く24.3%となっています。



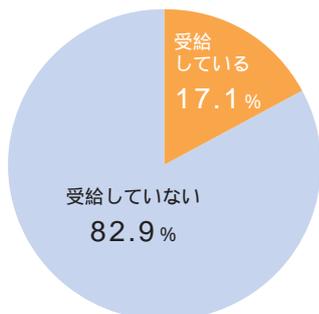
3. アルバイト

大学では、「年間を通じてしている」割合が前回調査(41.6%)より12.7%高くなっており、全体の半数以上が継続的にアルバイトをしているようです。一方アルバイトの目的は、大学、短期大学部とも「旅行・娯楽費」の割合が最も高く、学費や奨学金は低い結果となっています。

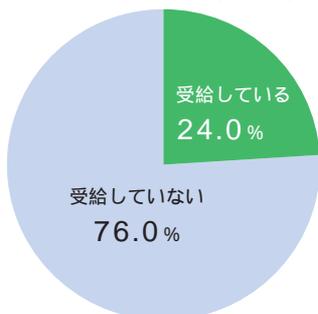


4. 学生の生活費

奨学金受給状況(短期大学部)



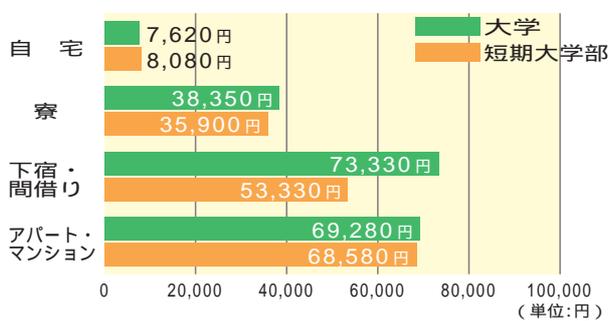
奨学金受給状況(大学)



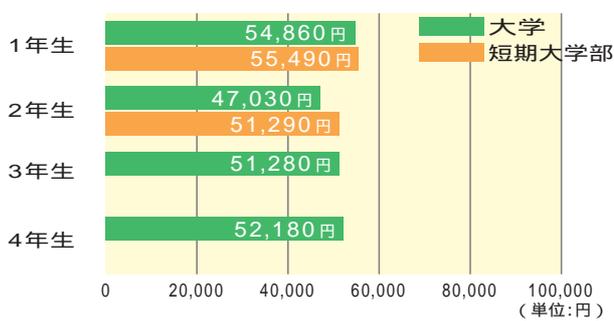
家族からの月平均援助金額の内、大学の自宅通学者の援助額は前回調査(12,435円)より少なくなっています。一方奨学金の受給状況の大学は、前回(16.5%)より増加しています。

また、アルバイトの平均収入月額は大学では、前回(自宅41,177円、アパート・マンション43,814円)より増えています。

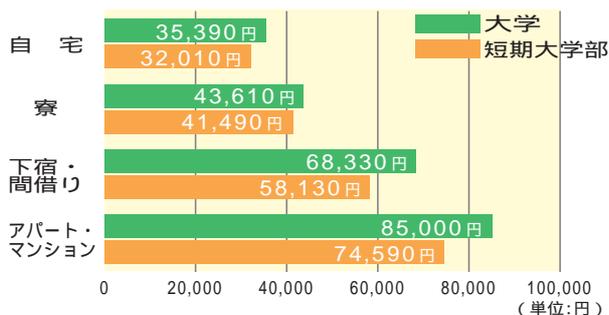
家族からの月平均援助金額



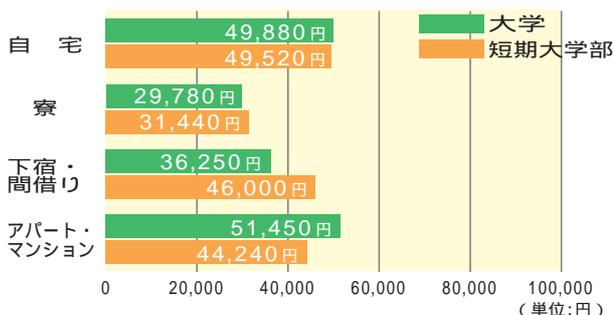
奨学金受給者の平均貸与月額



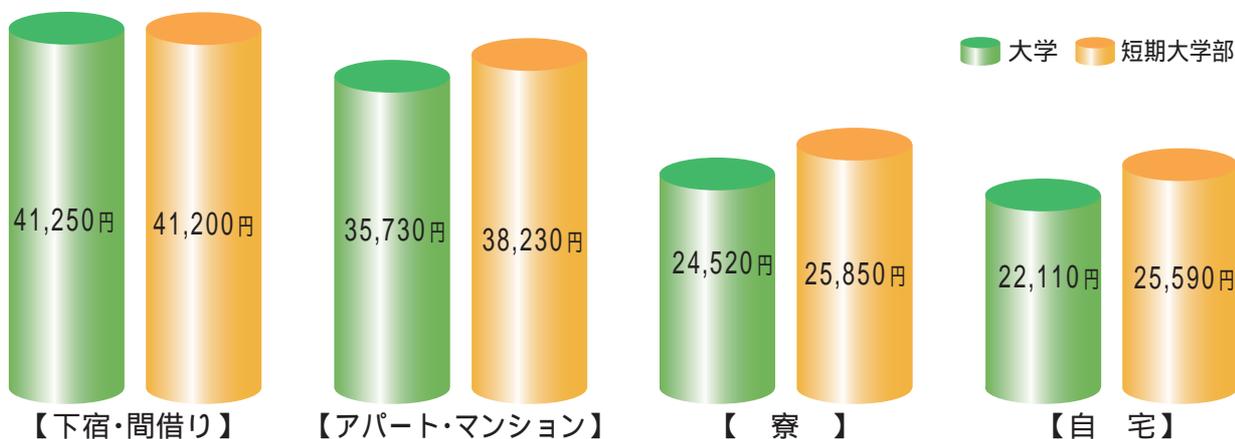
一ヶ月総支出額



アルバイトの平均収入月額



収入(家族からの援助 + アルバイト) - 総支出額は?

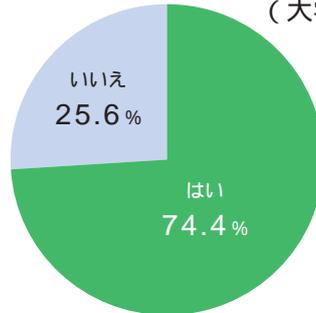


5. 不安や悩みについて

不安や悩みがありますか？
(短期大学部)

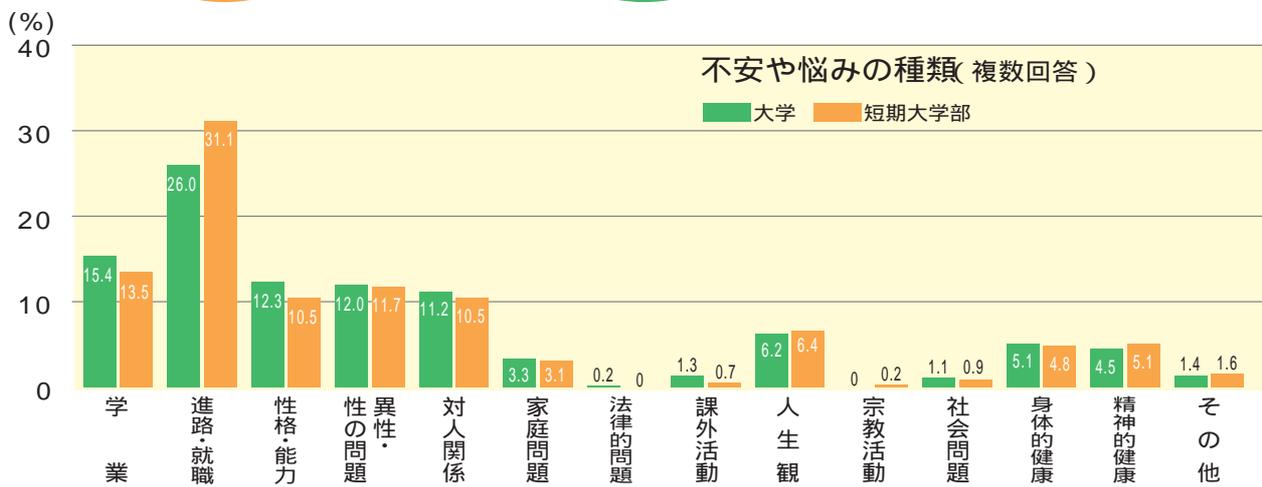


不安や悩みがありますか？
(大学)



全体では、大学、短期大学部とも多くの学生が何らかの不安や悩みを抱えています。

不安や悩みの具体的な内容は、「進路・就職」が最も多く、「学業」がこれに続いています。



学生相談室より「悩み」の上に花が咲く！

人として生きていく中で、悩みのない人生などありません。進路のこと、勉強のこと、家族のこと、友人のこと…前に進もうとする程、より良くあろうとする程に、思いもよらなかったことが障害として立ち現れてくる。自ら「世界」と向かい合うことが始まる青年期は、そういう時代でもあります。

悩みをうまく切り抜けるコツなどありません。「無かったこと」にする訳にもいかないし、後回しにしてもやがてツケが回ってくる。人のせいにする～うーん、それは子どものやることでしょう。となれば、これはもう、悩むしかない。辻褄合わせが上手くなることを、クールだと勘違いしないように。

「悩めない若者が増えてきた」としばしば耳にします。しかし、統計が指し示すように若者達に悩みがないわけではない。むしろ「悩み方」が分からなかったり、下手だったり、そもそも悩んだ経験の不足であったりするものです。

悩むことで色んなことが見えてきます。けっしてデジタルにではなく、かといって直線的でもない。もちろんそこには混乱もありますが、発見や飛躍、パラダイムが展開と転回していくチャンスがあるのです。「悩むこと」を恐るるべからず、です。あなたの「花」を咲かせて下さい。

(学生相談室 山崎 篤)

ハルさんのカレー

中村調理師専門学校校長
中村 哲

なかむら てつ

修猷館高校、東京大工学部卒、同大学院修了。現在、中村調理師専門学校、中村国際ホテル専門学校校長。学校法人中村学園理事を兼務。

人づくりに一生をささげた中村学園福岡市創立者中村ハル氏（一八八四～一九七一年）は玄洋社の頭山満の紹介で東京新宿・中村屋のインドカレーを学び、その後に関学した中村創享女学院現中村調理師専門学校で教材に使った「ハルさんのカレー」はどんな味だったのか。孫にあたる中村哲氏に寄稿してもらった。

本場の調理法に驚く

頭山満の仲介で、評判の味「学ぶ

中村調理師専門学校、中村学園大学などの創立者である中村ハルは一八八四年（明治十七年）現在の福岡市早良区西新の農家に生まれた。幼い頃に股関節脱臼になり手当てが悪かったため、一生片足を引くことになる。

五歳の時、また学齢に達していないのに学校嫌いの兄の監視役として歳を偽って小学校に入学した。卒業の直前に町長が父徳右衛門を訪ね、ハルを高等小学校へ進学させるように説得する。町長はかねてから立派な教員を育てたいと考えており、成績優秀のハルに白羽の矢を立てたのだ。高等小学校では全学年首席を通じ、福岡師範学校現福岡教育大に進学、十七歳で小学校の訓導教諭となった。その後、いくつかの小学校で教鞭を取るが、

常に朝五時に起き深夜まで勉強して教育に打ち込んだ。

三十五歳の時、松崎実業女学校現福岡県立三井高校の家庭科主任教諭として赴任する。小学校とは勝手が違う初めての女学校の家庭科授業で苦勞を重ね、本格的に家庭科教育の勉強をしたい、そのためには東京に出たいとの希望を抱いた。

そこでかつての学校の上司であった横浜市視学の中山直亮に手紙を書いた。中川は非常に喜び、横浜市で採用したい旨の返事を送り、ハルは横浜に赴任、家庭科を担当する。

当時の家庭科は、実習よりは講義がほとんどだったため、理論面

も大切だが実習を通じて技術を体得させ、人間教育を進めるべきと考えた。

しかし、調理実習のための調理台も包丁も無い。自分で移動式の流し台を土木生徒に自宅から持参した包丁を用いて授業をした。やがてハルの熱意は校長にも伝わり、実習道具も学校で揃えてくれることになった。

自分の勉強も欠かさなかった。夏冬休みには日赤病院の看護婦見習いになったり、東京女子高等師範学校現お茶の水女子大や日本女子大の講習会にも出席。帝国ホテルや一流料亭の調理場に入れてもらい料理法を学んだ。そんな頃、東京新宿の中村屋の純インド式カレーライスが美味いという評判を聞きつけた。インドから亡命してきたラス・ビハリ・ボスが教えた本場のカレーということだった。

「どうしても勉強したい。その一心で店の人に事情を話し調理場に入れてくれるように懇願するが聞き入れてくれない。数日悩んだ末、同郷の福岡・西新の大先輩である頭山が中村屋の主人と懇意であることを知り、頼みこんだ。頭山は、この一面識も無い女性教師の教育に賭ける情熱に打たれ、中村屋の主人、相馬愛蔵に紹介する。ハルの中に、郷土が生んだ女性勤王家、野村望東尼や興志塾を開いた高場乱

といった女性たちがダブって見えたのかも知れない。

やっと調理場を見せてもらうことができた。調理台の上にあった鶏の腸の山に仰天する。当時、内臓類は捨てるもので、一般にはほとんど食べることがなかったからだ。

できあがりは一見すると鶏肉とじゃがいもの普通のカレーだが、口に含むとびっくりするような辛さの中に不思議なうま味がした。しかもサラッとしてとろみが少ない。鶏の腸をこま切りにして野菜と一緒に炒めることになって、独特のうま味を生み出していたのだ。

亡命闘士が伝えた味

手間かけた香辛料 故国への愛着を示す

東京新宿・中村屋の創業者は相馬愛蔵。黒光夫妻である。愛蔵は一八七〇年（明治三年）信州東穂高村の素封家に生まれ、東京専門学校現早稲田大学に学んだ。黒光は一八七五年に生まれた。本名は良。宮城女学校に進学した後、横浜フェリス女学校に転校し、東京麹町の明治女学校を卒業した。

黒光は愛蔵と結婚し東穂高村に嫁いたが、その後、夫婦は東京に出ることになった。この頃ようやく広まりつつあったパン屋に着目、一九〇一年、本郷の東京帝大正門前にあったパン屋「中村屋」を購入する。

店は帝大生や一高生などの人気を集め、クリームパンも創案して大好評を博し、一九〇七年、新宿に支店を出した。

相馬夫妻の人名を慕って、中村屋には国内外の芸術家が入り、サロンのようになった。その中には、彫刻家の荻原守衡、碌山や小説家の国木田独歩らがいた。ロシアの盲目の詩人エロシエンコは相馬夫妻にロシアの代表料理であるボルシチを教え、中村屋の名物のひ



「実学を通しての人づくり」に一生をささげた中村ハル氏（中村調理師専門学校提供）



中村屋にインドカレーを教えたボースと俊子
(中村屋提供)

とことなる。

無政府主義の幸徳秋水や婦人解放運動の福田英子、そして頭山ら幅広い社会運動家思想家が入り込んだ。

一九一五年(大正四年)、頭山の家に逃れてきたラスビハリ・ボースを相馬夫妻が匿うことになった。インド独立運動の志士で、インド総督に爆弾を投げて失敗し、日本に亡命していた。イギリスは日本に引き渡しを強く要求したが、相馬家の助けで隠れ家を転々とした。

その際、相馬家との連絡役となったのが夫妻の長女で女学校を卒業したばかりの俊子だった。官憲の捜索は厳しく逃亡は困難を極め、頭山は誰かがボースを身をもって守らなければならぬ。俊子が結婚すれば、と勧め、俊子は悩んだ末、結婚する。二人の逃避行は一九二一年の日英同盟廃棄まで続き、ボースは俊子に故国のカレー調理法を教えた。

中村ハルが出会ったのはこうして誕生したカレーだった。

ここで、当時日本で主流だったカレーとボースが伝えたインドカレーの違いについて説明したい。

カレーは、インドでは種々の香辛料を調査

して野菜や肉などを煮込んだものだが、植民地の宗主国イギリスに伝わって変化する。まず西洋料理のソースには欠かせないルーが加わる。小麦粉をバターなどの油脂で炒めたもので、これを煮汁に加えることにより、とろみがついてソースとなる。また多くの香辛料を調査する手間を省くために、既に調合したルー粉が生まれた。明治の初め日本に伝わりますが、その中心はイギリス経由だった。

当然のことながらボースはルーを使わないカレーを教えた。もちろんカレー粉も使わず独自にブレンドした香辛料を用いた。これは独立運動家としての故国への愛着と敵対するイギリスへの反発でもあった。

ところで今回不思議なことがわかった。中村屋は一九一七年(昭和二年)にカレーを発売するが、当初から現在に至るまで鶏の腸は使っていないという。しかしハルは自伝の中で腸を使っていたと明確に記しているのだ。

これは筆者の推測だが、腸は一般へのなじみが無いうえに硬く、みじん切りしにくい。このため中村屋は本格的に売り出す時には鶏の腸を使わなかったのではないだろうか。

逆境の度救った味

バザーで常に一番人気

中村ハルは横浜の高等小学校に勤務しながら一流店で料理を学び、授業に活かした。東京新宿・中村屋のカレーにも帝国ホテルのやり方や独自の工夫を加え、実習に取り入れた。

関東大震災で九死に一生を得たハルは、請

われて神戸に転任。学校教育のかたわら、大阪京都神戸の一流料理店で料理法を学び、長期休暇の折には東京に出て勉強した。

一九三〇年(昭和五年)故郷・福岡にある私立九州高等女学校から教員に迎えられた。初めての私立学校で、教育以外に生徒募集にも奔走。庭球部を指導して全国大会にも出場させた。寄宿舎の舎監も勤めたが、太平洋戦争が激化し、食料入手が困難になり、運動場の片隅を畑にし、生徒達と馬糞拾いをして野菜を栽培した。これも立派な実学教育であった。

一九四五年六月の空襲によって同女学校の校舎はほぼ全焼。近くの寺に分散して授業を続け、やがて終戦を迎える。

校舎再建のため、ハルを中心に学校で料理バザーを開催することとなった。食料難の中で、必死になって食材を集め、生徒達と寿司や雑煮、蜜豆などをつくった。ご馳走や甘いものに飢えている時代、来場者は八千人にもなった。最も人気があったのはあのカレーだった。収益は二十万円にもなり、木造二教室の校舎を新築できた。

教育や学校運営に努力を惜しまないハルだったが、いつしか他の教職員と反目するようになった。それは戦前からの師範学校的、聖職者的教師像と戦後民主教育との考え方の違い



「若者たちにハルさんの精神を伝えたい」という
中村校長(中村調理師専門学校で)

であった。悩んだ末、一九四八年に退職する。

すでに六十四歳になっていたが、まだまだ元気だった。翌年四月には福岡市唐人町の公会堂を借りて中村割烹女学院(現中村調理師専門学校)を開校した。資金のほとんどは借金だったが、教える子たちの献身的な協力や、一流店で学んだハルが料理を教えるということ、入学者は翌年には七百人を超えた。

割烹女学院はその後も順調だったが、不満が生じてきた。日本人の食生活を向上させるためには料理学校だけではなく本格的な栄養士の養成学校が必要だということだった。

思い立ったら行動に移すのが信条。早速栄養学校の設立に奔走し、一九五四年には福岡高等栄養学校(現中村学園大学)を開校させた。学校経営は軌道に乗せたが、運営資金が不足してきた。入学寄付金の徴収を禁じていたハルは再び資金をつくりのためのバザーを思いつく。

校舎増築記念のバザー(一九五七年)には、二日間で約八千人が押し寄せた。教職員、学生が総出でつくった寿司やうどん、餃子やサンドイッチなどのメニューの中で、最も人気があったのはやはり頭山満の紹介を受けて中村屋で学んだインドカレーだった。利益は五十万円を超した。その後、ハルは女子教育の必要性から中村学園女子高校を開校するが、ここでも毎年のようにバザーを開き、生徒達とカレーを調理しては設備資金にしていた。

十月二十日、ハルさんのカレー講演会&試食会を開くが、それに続いて十一月十、十一日の中村調理師専門学校学園祭でインドカレーを学生、教職員が調理することになった。カレーの中にハルの、実学を通した人間教育というスパイスを効かせて。

この記事は平成十三年九月二十六〜二十八日に読売新聞に掲載されたものを転載しました。

マーケティング戦略と キャッシュフローの関係

大学 流通科学部 流通科学科 講師 片山富弘

1997年9月号のハーバード・ビジネスに「キャッシュフロー経営の実際」として示されている上場企業173社を対象にしたアンケート結果によると、現在の経営財務指標として採用しているのは、売上高、経常利益、売上高経常利益率が上位3位であり、キャッシュフローは9位と低くみられている。最近、企業倒産が相次ぐ中で経営者が重視しなければならないのは、資金繰りを考える上でもキャッシュフローである。また、マーケティング戦略分野において、キャッシュフローをはじめとするファイナンスとの関わりが薄いエリアである。したがって、私は現在、その関係に研究価値を見出している。

マーケティング戦略とキャッシュフローとの関係を示したものには、主要な3つの文献がある。その一つは、ボストン・コンサルティング・マトリックスといわれる市場成長率と相対シェアの高低で4区分されたものである。これは、各事業単位を問題児、花形、金のなる木、負け犬の4つに分類することで、事業間の資金配分、基本戦略について示している。2つ目は、製品ライフサイクル戦略におけるキャッシュフローは市場導入期のキャッシュフローはマイナスであり、成長期に緩和され、成熟期に高水準となり、衰退期に低水準となっていくことである。3つ目はPIMS(Profit Impact of Market Strategies)研究におけるキャッシュフローに関する成果は、投資集中度は一般に利益率と純キャッシュフローにマイナスのインパクトを与える他、などである。ここでは、誌面の関係上、それぞれの詳細についてはふれないが、上の3つからいえることは、業績結果における資金の流入出のことだけが示されているにすぎず、マーケティング戦略におけるプロセス面での関わりが、示されていないのが問題である。

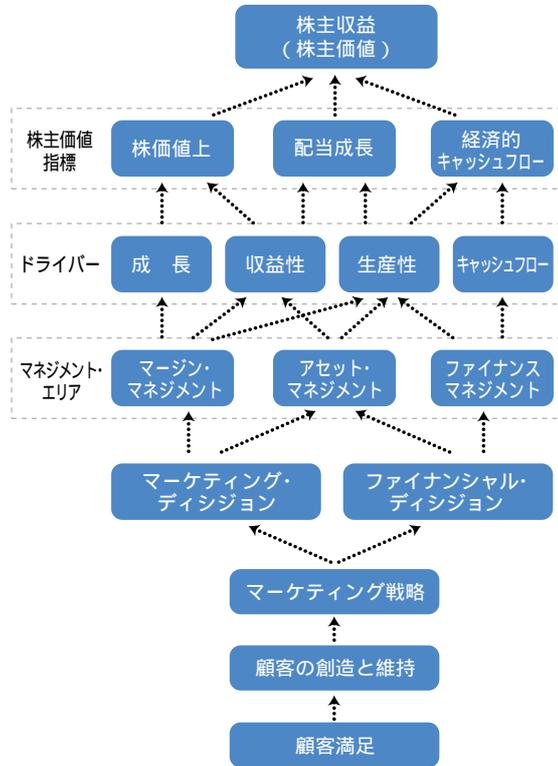
P.F.ドラッカーによると、事業目的は顧客の創造であり、そのために顧客満足が不可欠であり、そして、事業成長促進機能としてのマーケティングとイノベーションがある、と「現代の経営」で述べている。現代版マーケティングにおいては、私は顧客の創造に維持を付け加える必要があると考えている一人である。

マーケティング戦略の目的に顧客満足があり、これを第一目的のすると、第二目的が企業利益を増加させることであり、さらにマーケティング戦略の目的達成のために必要に応じて設備投資を実行することからの点を考慮すると、マーケティングとキャッシュフローの関係は現預金増加であり、第三目的であると考えられる。それぞれの目的は相反するものでは

なく、第一目的の充足があつて第二、第三目的への波及的關係があると捉えられる。

さらに、顧客満足を経営理念とするマーケティング戦略がキャッシュフローだけでなく、株主収益(株主価値)にいたるプロセスを図表に示した。これは、マーケティングとファイナンスのインターフェイスの構図であると考えている。今後はOne-to-Oneインターネットなどマーケティングの変化とともに、コントロール分野に踏み込んでいくつもりである。

マーケティングとファイナンスのインターフェイスの構図



プロフィール

関西大学経済学部卒業。慶応義塾大学大学院経営管理研究科修了。横浜市立大学大学院商学部経済学研究科修了。経営学修士。経済学修士。国家資格として、中小企業診断士。税理士。専門分野はマーケティング分野、特にマーケティング・マネジメント。近年の研究テーマ:「マーケティング品質」顧客満足と財務管理「マーケティング・オーディットの有効性」マーケティング戦略とキャッシュフロー」など研究学会論集に掲載済み。

Cathepsin Y(カテプシンY)という酵素 小さな小さな発見

短期大学部 食物栄養科 教授 山藤圭子

Cathepsin Yという酵素を見つけました。組織はラットの脾臓です。自然界に10万種以上も在る酵素のうちのたったひとつです。

YはAから並べてY番目に発表されたという意味でもあり、YamafujiのYでもあります。Xが発表されるまでジッと待っていたと言うと格好がいいのですが、ぐずぐずしていたらたまたまその順番になってしまって、ヤッター！今だ、Yだ！と登録したのです。研究はゲームでも遊びでもないのですが、私は楽しくないと頑張れない質 たち なのです。

Cathepsinは動物組織に含まれる酸性で働く蛋白分解酵素です。1929年にtodigestという意味のギリシャ語

に由来して名付けられました。Yの次にZが出ましたので、今ではAからZまであります。記号ではなく、もっと個性的な名前前で呼ばれている仲間もあります。いずれ、系統的に分類して命名し直さなければならぬでしょう。私は、この酵素を精製の途中では「37K」とよんでいました。分子量が37,000という意味です。次に「キニン活性増強因子生成酵素」と呼びました。そして一次構造を決めて、カテプシンの仲間であることを確認してから「Cathepsin Y」として発表しました。

名前の変遷が示すように、発見の動機は、この酵素を血液のタンパク質に働かせると、ブラジキニンなどの局所ホルモンの作用を強める物質をつくり出すことを見つけたことです。この物質は8個のアミノ酸できていることが判り、そのとおりの順序にアミノ酸をつないだものを使って、働き方をみました。微量ですから測定には生体の鋭敏さを利用します。私は子宮筋の収縮を電気的に変換してグラフの高さで表す方法に頼っています(図参照)。作用が見えない程度のブラジキニン(BK)にこの物質(BPP)を加えると子宮が収縮しました。

この酵素は、コラーゲンも分解しますので骨粗鬆症への関与も考えています。カテプシン類は細胞内の単なる掃除屋ではなく、色々な局面で重要な役割を持っていると考えられ始めています。筋ジストロフィーの原因酵素ではないか、とか、アポトーシス(プログラムされた細胞死)が始まる時に働いているとか。私も、試みたいことが沢山あります。もっと研究に没頭できたら！と思います。

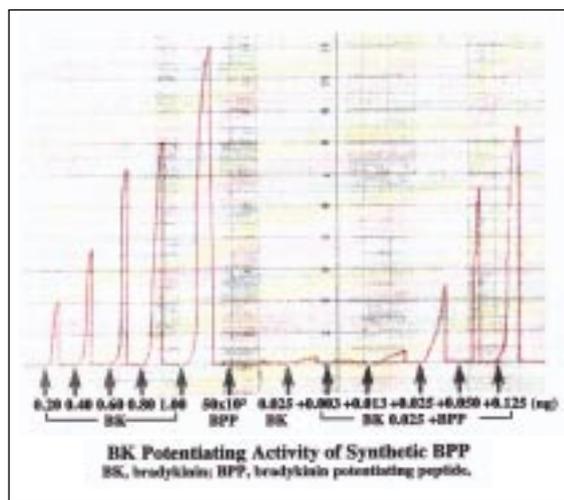
生化学の研究法の進歩著しいなかで、私が、曲がりなりにも新しい手法を取り入れながら仕事ができしたのは、若い研究者の方々のご協力のおかげです。

抗体の作り方を指導し、成功させてくださったのは食物栄

養学科の原孝之先生です。この抗体を使って色々なことがわかりました。タンパク質のアミノ酸配列分析ができたのは九州大学理学部生物学科の生体高分子の研究室の方々のお陰です。

遺伝子の構造の分析からアミノ酸の配列を推定するという手法には、現助手の中園栄里さんが本学大学院生当時に取り組み、成功しました。そして、各臓器でこの酵素がつくられているかどうかを次の二代の院生、森内三恵さん、上村晴美さんが調べました。私のところの最後の院生となった坂尾雪恵さんは、Cathepsin Yの作用によってキニン活性増強ペプチドを生成するタンパク質を血液から分離しました。前助手の釜田 谷口 世里子さんは抜群に正確な実験で酵素を精製し、性質をしらべました。そして何よりも、よいディスカッションの相手になってくれました。

脾臓の中からこんな酵素を見つけたんだけど、分離したいな、構造を決めたいな、他のカテプシンとはどう違うかな、どんなものがどこからできるか調べたいな、ほかの臓器ではどうかな、とつぶやいていた私は皆さんに大変感謝しています。



カテプシンYがつくるペプチド(BPP)は子宮の収縮を強める



プロフィール

九州大学理学部化学科卒業。九州大学大学院理学研究科化学専攻(生物化学)博士課程修了。理学博士。ニューヨーク州立大学医学部研究員、コロンビア大学医学部研究員、日本生化学会評議員、日本化学会会員、International Proteolysis Society会員、International Symposium on Kinin-Kallikrein System会員、蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム名誉会員

平成十二年度の決算については去る五月二十八日の評議員会並びに理事会において承認されました。その内容について、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表の概要は次のとおりです。

「大学院・大学・短期大学部」

収入の部では、補助金収入(国庫補助金)・資産運用収入及び前受金収入の増加により当年度の収入は予算に対し一億九〇〇〇万円の増収となりました。

支出の部の主なものは

- ・流通科学部を含む学生募集強化の費用
- ・流通科学部の開設記念式典関係
- ・中央南館一、二階一〇九R、一〇九準備室(一一三R、一二三R準備室)の内装全面改修
- ・中央本館二、三、四階二〇九R、三〇七R、三〇八R、四〇九Rの実験室及び研究室内装全面改修
- ・情報処理機費(四〇二R、四〇三R)取替
- ・学友会館四〇八R防音工事及び冷暖房工事
- ・中央本館二〇九R、三〇八R、三〇七R)の実験台の取替
- ・固定机・椅子(〇九R、二二三R講義室)取替
- ・グラウンド東側照明新設工事
- 等教育環境の整備に努めました。

「女子中学校・高等学校」

収入の部では、生徒納付金収入・補助金収入・資産運用収入等は予算に対し増収となりましたが、少子化による志願者数の減により手数料収入・前受金収入は減収となりました。

当年度の収入合計はほぼ予算どおりとなりました。

支出の部の主なものは

- ・高校創立四〇周年記念行事
- ・第一棟パソコン教室設置システム一式机椅子)
- ・第三棟外壁改修工事
- ・作法室改修工事
- ・駐輪場増設工事
- ・グラウンド水銀灯増設工事
- 等施設の充実に努めました。

「三陽中学校・高等学校」

収入の部では、中学校の生徒数の減少に伴い、生徒納付金収入・手数料収入・前受金収入等が減少となりました。

補助金収入は予算より、五・二%増加したものの、当年度収入合計では、予算に対して微増となりました。

支出の部の主なものは

- ・教育改革推進のための経費
- ・学生募集強化を図る広報セミナー等の費用
- ・校内LAN配線敷設
- ・コンピュータ室機器増設
- ・視聴覚デジタル対応への機器取替
- ・スクールバス購入
- 等施設設備の充実に努めました。

以上が各学校の主な事業です。学園全体の収入の部は、補助金収入、有価証券売却収入の増により、六八億七、〇〇〇万円になります。これに前年度繰越支払資金六〇億四、四〇〇万円を加え、収入の部合計は、二九億一、五〇〇万円となり、予算に対して三億七、八〇〇万円(三・〇%)の増となりました。

支出の部では人件費、教育研究経費支出で予算残となり、次年度への繰越支払資金は予算に対し四億三、〇〇〇万円(六・五%)増の七〇億一、二〇〇万円となりました。

「消費収支計算書」

学園全体の帰属収入合計は六四億七〇〇万円(前年度に対し三・〇%)増となりました。これに基本金組入額四億四、三〇〇万円を控除した五九億二、四〇〇万円が消費支出に充当可能な収入で、予算に対して一億六、二〇〇万円(二・八%)の増となりました。

消費支出の部の合計は五六億一、六〇〇万円となり、消費収入の部合計から比較すると一億二、八〇〇万円の消費収入超過額となります。これに前年度までの消費支出超過額の五億八、九〇〇万円を差引くと、翌年度への繰越消費支出超過額は二億五、〇〇〇万円となり、予算に対して三億七、〇〇〇万円(五・〇%)改善されました。

「貸借対照表」

資産の部では、固定資産は減少しましたが、流動資産の現金預金が増え、資産総額は二八億九、七〇〇万円となり、前年度末より六億五、五〇〇万円(二・三%)の増となりました。負債の部では、長期借入金・預り金の減少により一億一、六〇〇万円(三・四%)の減となりました。資産総額から負債総額を差引いた正味資産は二四億二、〇〇〇万円(前年度より七億八、一〇〇万円(三・二%)の増となりました)。

以上が平成十二年度における本学園の決算概要です。ますます経済情勢が厳しさを増す中で財政基盤を強化する為には日々努力を続けなければなりません。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

平成12年度消費収支計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日

(単位/円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	4,518,340,000	4,536,392,650	18,052,650
手数料収入	180,410,000	170,586,050	9,823,950
寄付金	28,670,000	37,015,941	8,345,941
(現物寄付金)	(4,560,000)	(10,962,096)	(6,402,096)
補助金	1,168,160,000	1,230,916,646	62,756,646
資産運用収入	53,880,000	71,896,584	18,016,584
事業収入	263,970,000	268,423,312	4,453,312
雑収入	81,590,000	92,537,639	10,947,639
帰属収入合計	6,295,020,000	6,407,768,822	112,748,822
基本金組入額	493,110,000	443,037,083	50,072,917
消費収入の部合計	5,801,910,000	5,964,731,739	162,821,739

(単位/円)

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	3,660,040,000	3,629,537,304	30,502,696
(退職給与引当金繰入額)	(113,790,000)	(106,763,784)	(7,026,216)
教育研究経費	1,478,830,000	1,407,026,022	71,803,978
(減価償却額)	(455,990,000)	(455,609,723)	(380,277)
管理経費	586,200,000	558,988,737	27,211,263
(減価償却額)	(75,470,000)	(75,321,553)	(148,447)
借入金等利息	21,520,000	21,500,132	19,868
資産処分差	8,940,000	8,926,617	13,383
(2,570,000)			
[予備費]	15,330,000		15,330,000
消費支出の部合計	5,770,860,000	5,625,978,812	144,881,188
当年度消費収入超過額	31,050,000	338,752,927	
前年度繰越消費支出超過額	589,640,000	589,632,225	
翌年度繰越消費支出超過額	558,590,000	250,879,298	

平成12年度資金収支計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日

(単位/円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,518,340,000	4,536,392,650	18,052,650
手数料収入	180,410,000	170,586,050	9,823,950
寄付金収入	24,110,000	26,053,845	1,943,845
補助金収入	1,168,160,000	1,230,916,646	62,756,646
資産運用収入	53,880,000	71,896,584	18,016,584
資産売却収入	0	194,103,146	194,103,146
事業収入	263,970,000	268,423,312	4,453,312
雑収入	81,590,000	92,537,639	10,947,639
前受金収入	1,066,370,000	1,159,404,600	93,034,600
その他の収入	339,230,000	339,246,650	16,650
資金収入調整勘定	1,203,200,000	1,218,708,350	15,508,350
前年度繰越支払資金	6,044,500,000	6,044,503,107	3,107
収入の部合計	12,537,360,000	12,915,355,879	377,995,879

(単位/円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,575,910,000	3,548,500,720	27,409,280
教育研究経費支出	1,022,840,000	951,416,299	71,423,701
管理経費支出	510,730,000	483,667,184	27,062,816
借入金等利息支出	21,520,000	21,500,132	19,868
借入金等返済支出	212,210,000	212,210,000	0
施設関係支出	107,230,000	102,401,050	4,828,950
設備関係支出	190,300,000	186,934,925	3,365,075
資産運用支出	34,800,000	129,755,000	94,955,000
その他	381,600,000	407,371,492	25,771,492
(130,000)			
[予備費]	17,770,000		17,770,000
資金支出調整勘定	117,390,000	140,828,034	23,438,034
次年度繰越支払資金	6,579,840,000	7,012,427,111	432,587,111
支出の部合計	12,537,360,000	12,915,355,879	377,995,879

貸借対照表

平成13年3月31日

(単位/円)

(単位/円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減()
固定資産	21,381,064,899	21,686,165,957	305,101,058
有形固定資産	19,999,077,361	20,238,637,183	239,559,822
土地	7,445,253,236	7,443,190,236	2,063,000
建物	10,014,814,510	10,313,025,750	298,211,240
構築物	586,454,424	608,244,757	21,790,333
教育研究用機器備品	647,602,077	610,333,274	37,268,803
その他の機器備品	101,460,195	111,296,840	9,836,645
図書	1,183,387,880	1,139,701,377	43,686,503
車輜	20,105,039	12,844,949	7,260,090
その他の固定資産	1,381,987,538	1,447,528,774	65,541,236
電話加入権	2,722,942	2,722,942	0
有価証券	911,341,856	1,106,638,092	195,296,236
保険資産	100,000,000	0	100,000,000
収益事業元入金	20,000,000	20,000,000	0
出資金	34,974,640	33,467,640	1,507,000
長期積立金	440,100	440,100	0
敷	900,000	900,000	0
第3号基本金引当資産	311,608,000	283,360,000	28,248,000
流動資産	7,596,081,906	6,635,562,832	960,519,074
現金・預金	7,012,427,111	6,044,503,107	967,924,004
有価証券	201,407,790	200,214,700	1,193,090
特定金銭信託	300,000,000	300,000,000	0
未収入	80,018,850	89,246,650	9,227,800
仮払金	643,985	523,695	120,290
前払金	1,584,170	1,074,680	509,490
資産の部合計	28,977,146,805	28,321,728,789	655,418,016

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減()
固定負債	2,004,793,225	2,015,966,641	11,173,416
長期借入金	598,190,000	690,400,000	92,210,000
退職給与引当金	1,406,603,225	1,325,566,641	81,036,584
流動負債	1,570,680,436	1,685,879,014	115,198,578
短期借入金	92,210,000	212,210,000	120,000,000
未払金	139,753,354	130,154,971	9,598,383
前受金	1,159,404,600	1,138,689,500	20,715,100
預り金	178,653,324	203,309,686	24,656,362
仮受金	659,158	1,514,857	855,699
負債の部合計	3,575,473,661	3,701,845,655	126,371,994

基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減()
第1号基本金	25,023,944,442	24,609,155,359	414,789,083
第3号基本金	311,608,000	283,360,000	28,248,000
第4号基本金	317,000,000	317,000,000	0
基本金の部合計	25,652,552,442	25,209,515,359	443,037,083

消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減()
翌年度繰越消費支出超過額	250,879,298	589,632,225	338,752,927
消費収支差額の部合計	250,879,298	589,632,225	338,752,927

負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減()
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	28,977,146,805	28,321,728,789	655,418,016

注記1 減価償却額の累計額の合計額 5,891,208,818 円

2 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地	1,220,234,736 円
建物	339,351,659 円
計	1,559,586,395 円

3 退職給与引当金の算出方法は、次のとおりである。

法人本部・大学・短期大学部は期末要支給額1,234,157,000円から私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

高等学校以下は、期末要支給額1,101,820,000円から私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。

4 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 690,400,000 円

学内施設、リフォームしました。

現在、年次計画で学内施設の改修等を実施しています。

まず、春休みに、中央本館・中央南館の総ての実験室・実習室に空調設備を設置しました。これは、夏に向けて、学生の皆さんが1日も早く快適な環境で学習できるように他の工事に先行して行なったものです。

トイレについては設備の老朽化が進んで、故障が頻繁に発生し始めたこと、学生からトイレの整備改修の要望が強まったこと、また後期から明るく清潔感溢れる施設が使えるように、夏休み中に新たに換気設備を整えて内部を全面改修いたしました。尚、他の古い校舎のトイレについても、本年度から3ヵ年計画で改修していく予定です。

夏休みには、施設設備が老朽化し様々な問題が発生していたことから、昨年より年次計画で進めている中央本館2～4階 食品加工実習室、生化学実験室、解剖生理学実験室の電気・ガス・給排水設備を主体とした、全面改修工事を実施しました。実験・実習台、流し台、戸棚も新しいものに取り替えています。

中央南館1～2階も、昨年来より改修を始めていますが、今年の夏休みには栄養調理学実習室(110)同(214)調理実習食堂(215)にHACCPを取り入れて手洗い施設を新設しました。ステンレス製の調理実習台等を導入して、今までよりも衛生的な施設設備へと改修し、一新しています。

施設ではこの他に、学生課・就職室を改修し皆さんが利用しやすいように配慮しました。

又、構内のいたるところに木製のベンチを配置し、くつろげるようにしています。



①実験室(中央本館4F)



②喫茶室前ベンチ



③トイレ(西2号館3F)



④調理学実習室(中央南館1F)

インターネットと電子ジャーナル

インターネットはなぜ便利? どのようにしてインターネットが出現したの? 電子ジャーナルと聞くけど? すぐ見られる電子ジャーナル(Online Journal)って? などなど、インターネットの基本的な疑問から、知っておきたい電子ジャーナルについて解説します。

インターネット?

調べるのにとっても便利

「インターネット」と聞けばYahoo, Google, goo, infoseek などで、事項や芸能、スポーツ、ゲームを探したり、地図や天気情報を入手したり、今ではあたり前のツールになっています。携帯電話からもインターネットができるようになりました。

インターネットの始まり

元々、インターネットは、核の驚異にさらされていた冷戦時代に - 9月11日の「同時多発テロ事件」で、攻撃の対象となった - アメリカ国防総省ペンタゴンの軍事研究機関によって研究されました。そのペンタゴンで開発されたのがアーパネット(ARPAnet)というシステムでした。これは、外部からの攻撃によりネットワークの一部が物理的に破壊されても別のルートを使って接続するというものです。後に大学や研究機関の情報交換に転用され、便利だとわかると更に商用・一般へと公開が認められ、誰でもがインターネットへアクセスできるようになりました。

インターネットで最新情報

ホームページには科学技術はもちろん、ニュース、テレビ番組から芸能、個人の趣味まで、誰でもがホームページをつくり気軽に情報の発信・受信ができるようになりました。

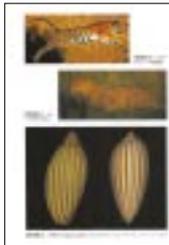
インターネットは科学者達の間では、学術雑誌として日の目を見るまでの前刷り(pre-print)としても、最新の情報を入手できる場です。

新 着 情 報

生命に隠された秘密 - 新しい数学の探求 -

イアン・スチュアート 著
林 昌樹 勝浦一雄訳 愛智出版 2000年

なぜ生物の世界というものは、こんなにも無生物の世界と違うのだろうか…。遺伝子は詳細な技術設計図などではない。むしろ料理のレシピのようなものである。



世界遺産

- かけがえのない自然と文化の宝物 -

昭文社 2001年

690の遺産を全てこの一冊に収録!



愛の領分

藤田 宜永 著
文藝春秋 2001年(直木賞受賞作)

不倫でもないのに秘密の匂いがする。愛を信じられない男と女それでも出会ってしまった彼らの運命 - 恋愛長編小説 -



電子ジャーナル?

デジタル化した文字

最近、電子図書館、電子ジャーナルという言葉を目にするようになりました。電子図書館は図書の文字をデジタル化してインターネット上に載せ、あたかも図書館がそこにあるかのようにコンピュータ上に図書館をつくったものですが、電子ジャーナルは雑誌の文字をデジタル化し、雑誌をインターネットのOnlineで見られるようにしたものです。

誰よりも早く資料をゲット

その中に出版社がOnline Journalとして、インターネット上で即購読できるような提供している雑誌があります。Online Journalを契約すれば、利用者は図書館まで足を運ばなくてもインターネット上で見られるようになります。特に欧米の出版社(O.U.P., Elsevier, Springer-Verlag など)が発行している学術雑誌はOnline化が進んでいます。

図書館でも無料 (free) のOnline Journalとしてホームページに載せています。

<http://www.lib.nakamura-u.ac.jp> の電子ジャーナル
Foreign Journals

また、オックスフォード出版社(O.U.P.)からのトライアルとして本学図書館でもOnlineで見ることができるようになっています(パスワード等が必要) 試してみたい方は図書館カウンターでお尋ねください。

日本語版でも無料で提供している学会や出版社があります。

<http://www.lib.nakamura-u.ac.jp> の電子ジャーナル
Japanese Journals

本学図書館購読の付録Online Journalとしては

契約ジャーナル検索(本学検索)

American Journal of Clinical Nutrition など。

とっても便利なWeb of Science

更に「Web of Science」と言うもっと便利なツールがあります。これは元々Citation Indexと言う2次資料です。研究者が研究を進めていくための必要な道具で、誰がどの文献を引用しているかを知ることができます。

今ではデータベース化され、更に、Web上で一次資料(原文)の入手やそれに関する関連記事まで入手できる非常に便利な検索機能として発展してきました。これは、インターネットと電子ジャーナルの発展のおかげです。

このように、インターネットや電子ジャーナルはますます発展し、私達利用者にとって便利な道具になって行くことでしょう。図書館のパソコンを利用して資料を収集し、レポートや卒論に役立てていただければ嬉しく思います。

教員の出版物

書名	著者	発行	発行日
家族・福祉社会学の現在	佐々木 美智子 共著 家政学部/児童学科/助教授	ミネルヴァ書房	平成13年 6月
チャールズエンジェル	中谷 安男 共著 短期大学部/家政経済科/助教授	スクリーンプレイ	平成13年 8月
子どもの栄養・食教育ガイド	沖田 千代 共著 家政学部/食物栄養学科/教授	医歯薬出版	平成13年 8月

著者は、本学教員のみ記載

学園往来

9月14日、ハワイ大学リーワードコミュニティカレッジのJudith Kappenberg先生が、来学された。同大学とは、平成12年に学術交流協定を締結しており、今春も、本学の学生がハワイを短期訪問するなど、積極的に交流を計っている。今回の訪問は、交流プログラムの打ち合わせと、交流実施のための本学施設事前視察の為に、学内や、本学研修施設「ほくさん」など見学された。



学長室にて(前列右側がJudith先生)

アジア栄養科学ワークショップ

9月29日、大学院 栄養科学研究科主催の第10回「アジア栄養科学ワークショップ」が開催された。このワークショップでは、食習慣や生活様式の違いによって引き起こされている健康・栄養問題を取り上げ、講演やディスカッションを行っている。今年のテーマは、「肥満を科学する」。今回は、3つの講演が行われ、内容は次の通り。

- 「エネルギー消費の自律的調節機構と肥満」
斎藤昌之先生(北海道大学教授)
- 「肥満症治療 - その新たな展開」
坂田利家先生(大分医科大学教授)
- 「減量指導の実際とその効果」
伊藤和枝先生(中村学園大学教授)

当日は、学生や、一般市民など、285名の参加者が集まった。

研究助成・受託研究等採択状況 福岡県・福岡県域食生活改善推進協議会(受託研究)「高校生年代に対する食生活実態調査研究」

代表研究者
沖田 千代
教授

家政学部
食物栄養学科



近年、日本において人口の高齢化が進行していることに併せて、生活習慣病が増加している。生活習慣病は、身体の機能や生活の質を低下させる原因であるばかりではなく、生命まで脅かす原因となるが、この予防策は、早い年代からの正しい食生活、すなわち、栄養バランスの調った食生活を中心とした、正しい生活習慣の定着にあるといわれている。平成10年の国民栄養調査結果から、15～19歳でのカルシウムや鉄の摂取が所要量を下回り、男子では朝食の欠食率が7人に1人の高率な割合で現れており、生活習慣の乱れが大きく予測されている。そこで、高校生年代における食生活の実態を把握し、生活習慣病発症への隠れた背景を明らかにすることにより、生活習慣病の防止対策を講じるために必要な基礎資料を得ることを目的とする。調査対象は、筑紫、粕屋、宗像、糸島、遠賀の福岡地区保健所管内の高校生1学年および2学年の男女生徒2千人を対象とする。調査は福岡地区保健所を核とした福岡県が県域食生活改善推進協議会の協力を得て実施し、保健所とともに解析を行う。

ターゲットは青島市 ～山東省(中国)の経済的側面を解明～ 流通科学部 教授 海 沢洲

活発な動きを見せる中国経済に多くの経済学者・経営学者の目が集中していますが、九州のすぐそばにある山東省は美しい自然や豊富な天然資源に恵まれているにもかかわらず、広東省や上海に比べてあまり研究は進んでいません。そんな理由から本学の共同研究グループは山東省の代表的都市である青島市の経済的側面の解明を研究のターゲットにして昨年より研究準備を着々とすすめて、遂に今年の夏、青島の土を踏むことになりました。

美しい海、整備された町並み、そして我々を温かく迎え入れてくださった青島大学及び青島海洋大学教職員の皆様のお陰により、研究は当初予想していた以上の成果をあげることができました。特に8月30日青島大学において開催された「中日経済問題検討会」は本来本学と青島大学金融学院の教員のみでの小規模の研究会を予定していましたが、当日は山東省教育委員会、青島市政府、城陽区政府の各代表の他、青島大学旅遊学院、青島海洋大学からも多くの研究者が参加され研究会は大いに盛り上がり、本学教員は研究のパートナーを得ることもできましたし、9月1日には予定外の青島海洋大学で再び研究会を持つチャンスに恵まれました。このチャンスを与えていただいた中村学園大学に一同心より感謝いたします。



研究者: 海 沢洲 (流通科学部 教授) 米山 毅一朗(流通科学部 助教授) 男澤 智治 (流通科学部 講師)
松田 潤治 (流通科学部 教授) 山田 啓一 (流通科学部 助教授) 片山 富弘 (流通科学部 講師)

日程(7泊8日)

8/27 福岡 青島 青島大学副学長との懇親会	8/30 中日経済問題検討会(青島大学にて)	9/1 経済座談会(海洋大学にて)
8/28 青島市城陽区政府表敬訪問 青島市城陽区日系企業調査	8/31 青島市港湾局調査 青島市内中心地区小売業実態調査	9/2 青島市海浜地区レジャー産業視察 青島市住宅状況調査
8/29 青島市城陽区日系企業調査		9/3 青島 福岡

訃報



原 俊之氏(元学長)

9月7日、13時00分頃、病氣のため逝去、92歳だった。

原氏は、昭和6年に東京大学を卒業、旧福岡師範教授などを経て九州大学教授になり、教育学部長などを歴任。昭和47年から昭和56年までの10年間、本学の学長を務められた。お別れ会は、9月14日福岡空港、福岡市中央区でしめやかに執り行なわれた。

広報誌セロリの定期購読について

個人で定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を書いた紙片を同封の上、学長事務室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。

[申込み先]

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学長事務室「広報誌定期購読申込」係

教職員の動き

新任(平成13年10月1日付)



常勤助手
中園 栄里



常勤助手
吉田 淳子

退職
(平成13年9月30日付)

食物栄養科 助手
釜田 世里子
食物栄養科 助手
柿原 美穂

編集

中村学園大学 中村学園大学短期大学部 学長事務室

発行日

平成13年10月31日

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL.092-851-2531
【ホームページアドレス】<http://www.nakamura-u.ac.jp/>

学校法人中村学園は、学園祖中村ハル先生が設立され、昭和28年(1953)12月24日に福岡県知事の認可を受け、翌、昭和29年(1954)4月福岡高等栄養学校を設置し、中村学園がスタートしました。昭和29年(1954)4月の福岡高等栄養学校開学から、平成16年(2004)4月で満50年を迎えます。